

## 鳥羽・志摩の海女漁の技術 Fishing techniques of Ama woman divers in Toba and Shima

鳥羽・志摩に伝承される、女性たちによる素潜り漁の技術です。志摩の海女漁は、古来より継承されてきたと考えられ、『万葉集』でも海女のことが出たわれています。この素潜り漁の技術は現代まで引き継がれ、現在、鳥羽・志摩の海女は全国で一番多く、伝統ある海女漁の技術を守り続けています。

令和元年に、鳥羽・志摩の海女の文化や伝統を語るストーリー「海女(Ama)」に出逢えるまち鳥羽・志摩 ～素潜り漁に生きる女性たち」が、日本遺産に登録されました。

平成29 (2017) 年国指定重要無形民俗文化財

海女文化を動画で紹介しています



銅造如来坐像 Bronze seated Tathagata

平安時代前期の作と考えられ、右手は肘より先を損失しています。現在は和具の観音堂に保管されています。 昭和38 (1963) 年国指定重要文化財

## 安乗の人形芝居 Anori Puppet Show

Anori Puppet Show

安土桃山時代に始まった伝統芸能。大胆かつ野趣に富む喜怒哀楽の表現で人々を魅了し、400年以上にわたって伝承されてきました。現在も、安乗人形芝居保存会と、市立東海中学校郷土芸能クラブが練習に励んでおり、歴史ある伝統芸能を守り続け、次世代に受け継いでいくため、活動を続けています。

昭和55 (1980) 年  
国指定重要無形民俗文化財

「Pen Films」が安乗の人形芝居を動画で紹介しています



# 志摩のルーツを探る

志摩はどのように成り立ってきたのか。

どのような歴史を歩んできたのか。

そのルーツを探ることで、未来への継承へとつながります。

## 志摩の暮らしは2万年前から

志摩市では、旧石器時代のナイフ形石器が見つかっており、約2万年前には人々が暮らしていたことが分かっています。弥生時代と古墳時代には、日本列島の各地で稲作が行われていましたが、志摩市では沿岸部に遺跡が集中することから、主に海産物をとっていたと考えられます。また古墳の多くは沿岸部に築かれており、紀伊半島を航行する人々に地域の権力を見せつけていたと考えられます。

## 御食国としての地位を確立

志摩市は海の幸・山の幸に恵まれた地ですが、それははるか昔から変わらないものでした。和銅5(712)年成立の『古事記』

には、「島の速贄」と書かれており、天皇の御食として、海産物を貢納する国として記されています。また、志摩国を含む伊勢国は、養老4(720)年に成立した『日本書紀』に、「神風の伊勢国は常世の浪の重浪帰する国なり。傍国の可憐し国なり」と記されており、常世(永遠の命を育む地)から、波(黒潮)が繰り返して押し寄せ、海の幸・山の幸が豊かな所とされています。さらに、7世紀後半から8世紀後半の日本最古の和歌集『万葉集』にも、「御食国 志摩の海女ならし真熊野の小舟に乗りて 沖へ漕ぐ見ゆ」と記されており、古代より朝廷や神宮に食料を献上していた国を表す「御食国」に志摩が含まれていたことが分かります。志摩の地は、古くから神々や天皇を魅了するほどの上質な産物に恵まれていたのでしょう。

## 悠久の時を感じさせる宝

長い歴史を歩んできたことを物語るように、市内からは石器や土器など、時代を表すさまざまな遺物が出土しています。また、脈々と受け継がれてきた貴重な伝統文化も数多く残されています。これらは、志摩のルーツを語る上で欠かせない貴重な宝。守り伝えていくことで、豊かな志摩の歴史を未来へと語り継いでいかなければなりません。

## Explore Shima's roots

### Life in Shima from 20,000 years ago

Knife-shaped stone tools from the Paleolithic era have been found in Shima City, and it is known that people lived in the area about 20,000 years ago. During the Yayoi period and Kofun (burial mound) period, rice was cultivated in various parts of the Japanese islands, but since archeological sites are concentrated in the coastal areas of Shima City, it is thought that seafood was the main product. Many of the burial mounds were built along the coast, and it is believed that they showed the region's power to people who sailed along the Kii Peninsula.

### Establishes its status as Miketsukuni (land of royal provisions)

Shima City is blessed with seafood and mountain food, and it hasn't changed since long ago. In the Kojiki, which was written in Wado 5 (712 AD), the region was called the "Offering Island", and it was listed as a country that contributed seafood as the emperor's food. Ise Province, including Shima Province, was written about in the "Nihonshoki", which was written in Yoro 4 (720 AD). It said that "The divine wind of Ise Province is a country where the wandering of the eternal world returns. It is a beautiful outer province." Waves (the black current) repeatedly rushed in from the everlasting world (the land that nurtures eternal life), and it is said to be a place rich with seafood and mountain food. Furthermore, the area is also described in Japan's oldest Japanese poetry collection, the "Manyoshu", which dates from the late 7th century to the late 8th century AD. It describes the area as "a Miketsukuni (land of royal provisions), with Shima's ama (women divers), taking the small boat Makumano, watching them rowing offshore." It is known that Shima was included as a Miketsukuni and that represents the country which has provided food to the imperial court and shrine since ancient times. From ancient times, the Shima region must have been blessed with high quality goods that fascinated gods and emperors.

### A treasure which makes you feel the eternity of time

Various relics representing different periods, such as stone tools and earthenware, have been excavated from the city, as if to tell that we have walked down a long path of history. In addition, many precious traditional aspects of culture that have been continuously handed down remain. These are precious treasures that are indispensable when talking about the roots of Shima. We must pass on the rich history of Shima to the future by protecting these treasures and passing them on.

## 磯部の御神田 Isobe no Omita

毎年6月24日におこなわれる磯部の御神田。日本三大御田植祭の一つに数えられており、竹取神事や御田植神事、躍り込みといった、荘厳な時代絵巻を感じさせる神事が盛大に行われます。磯部の御神田は、磯部九郷とよばれる地区の人たちが輪番で執り行っており、神事に登場する役人や、世話役の人たちを地区の人で担っています。地元住民が一丸となって守り続けている、伝統ある御田植祭です。

平成2 (1990) 年国指定重要無形民俗文化財



## 平城宮出土木簡

Wooden strips unearthed in the remains of the Heijo Palace

木簡には、志摩国から平城宮に納められた海産物の内容や量などが記されています。

画像提供: 奈良文化財研究所



## 潮かけ祭り

Shikake Festival

海の安全と豊漁を祈願する神事のあと、船上で激しく海水をかけ合ったり、海に投げ入れたりする「天下ご免」の奇祭です。

## 伊勢えび祭

Ise-ebi (Japanese spiny lobster) Festival

伊勢えびなどの海の幸への感謝と豊漁を願って開催する祭り。じゃこっぺ踊りや巨大な伊勢えびの神輿が目を見せます。



## わらじ祭

Waraji Festival

畳一枚程の大わらじを造り、村を荒らす巨人を退散させたという言い伝えによる祭り。海の安全、豊漁を祈願します。



## 伊勢えび

Spiny lobster

市を象徴する海産物で、全国トップクラスの漁獲高を誇ります。長寿を祝う縁起物として古くから伊勢神宮にも献上されてきました。



## あわび

Abalone

平安時代に成立した「延喜式」にも献上品としてその名が出てくる高級海産物。海女の手により一つひとつ丁寧に採られた志摩の天然あわびは全国的に有名です。